



キーウェアソリューションズ株式会社

(東証2部 3799)

IT can create it.

決算説明資料

2012年3月期 第2四半期



キューカーブ2015

※本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。
また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。
※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

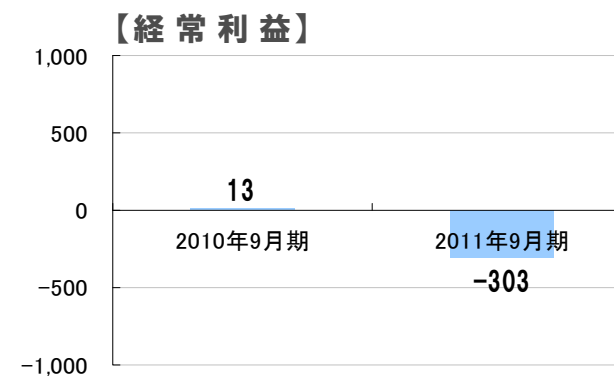
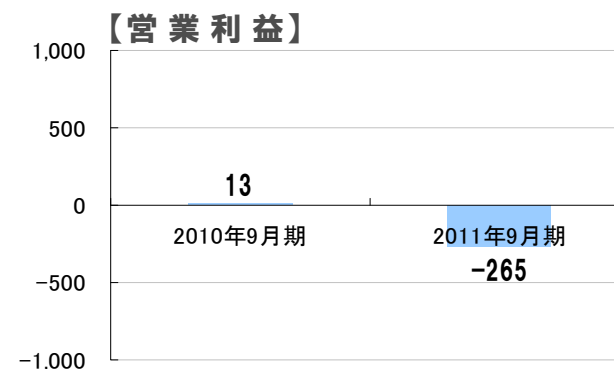
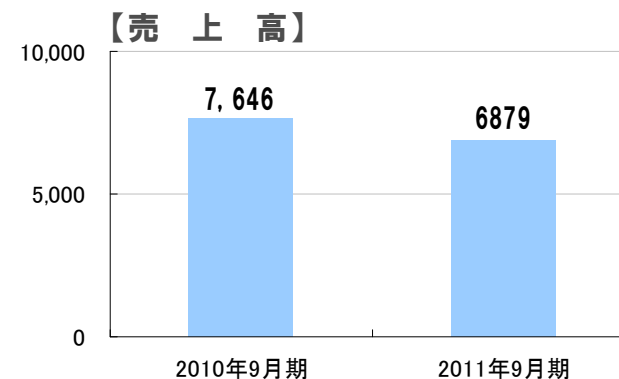
**国内の長引く景気低迷や円高、さらに欧州の債務問題
など国内外経済の不透明感を背景としたユーザ企業の
IT投資抑制が継続する中、収益基盤の安定化に向けた
「質的転換」を推進し、当初計画を上回る収益を確保**

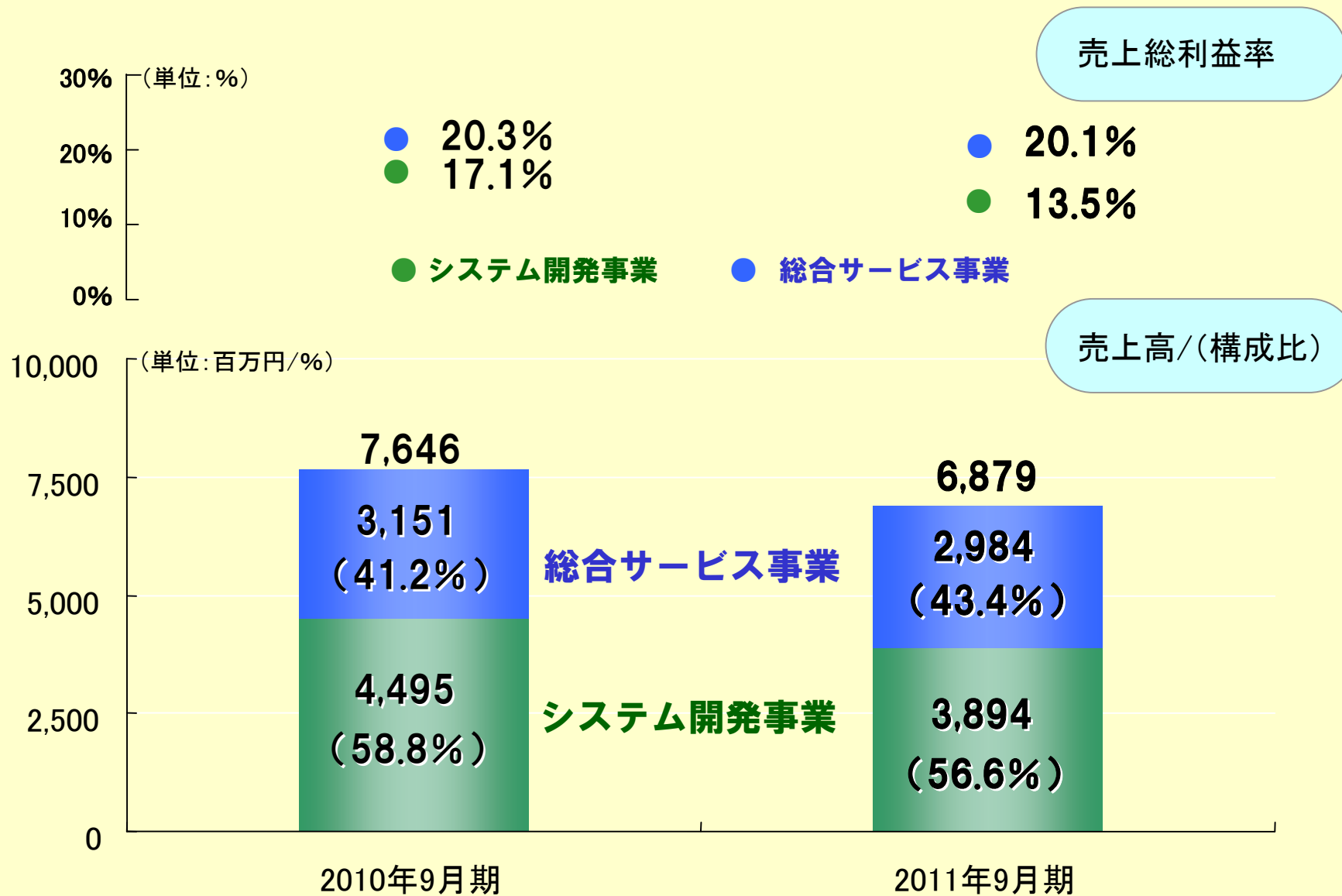
○質的転換

- ・事業内容の質的転換
- ・顧客との関係の質的転換
- ・人材の質的転換

連結損益計算書概要 (単位:百万円/%)

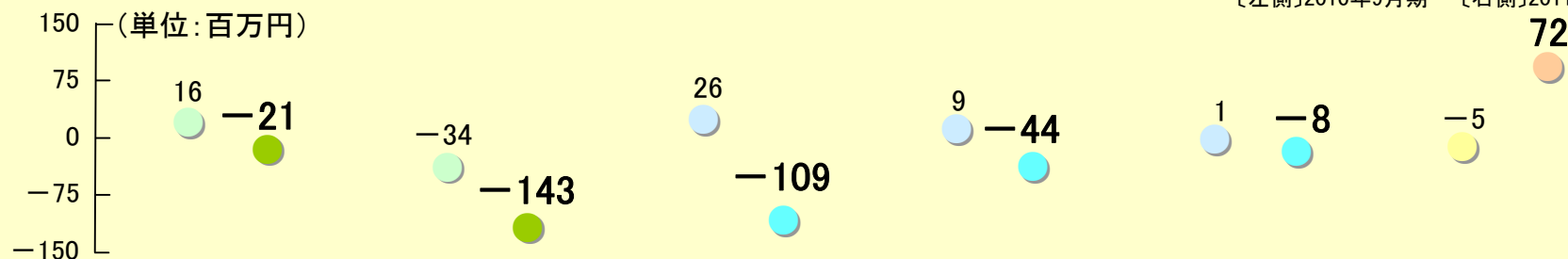
項目 \ 決算期	2010年9月期		2011年9月期	
	実績	前年同期比	実績	前年同期比
売上高	7,646	-7.9%	6,879	-10.0%
売上原価	6,237	-15.3%	5,754	-7.7%
売上総利益	1,408	49.6%	1,124	-20.2%
販管費	1,394	-14.9%	1,389	-0.4%
営業利益	13	-	-265	-
経常利益	13	-	-303	-
当期純利益	-265	-	-355	-





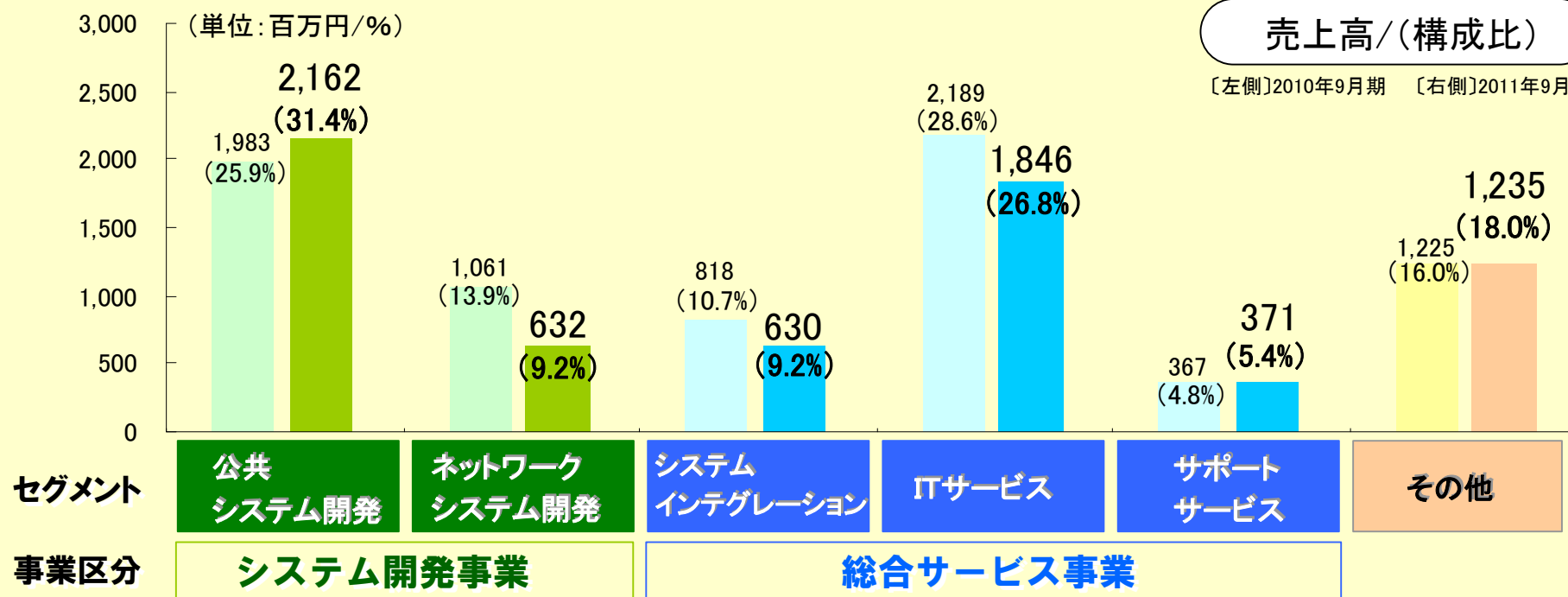
営業利益

[左側]2010年9月期 [右側]2011年9月期



売上高/(構成比)

[左側]2010年9月期 [右側]2011年9月期



* 上記の業績数値は、セグメント間で発生した取引を除いた売上高を記載。

* 「その他」: 報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、拠点として地域性をもち独立した経営単位のセグメント、および機器販売等

システム開発事業

公共システム開発事業

新規・継続案件を積極的に推進

●金融系

受注高、売上高ともに堅調に推移

●官公庁系 ●通信系 ●報道系

受注高、売上高ともに軟調に推移

ネットワークシステム開発事業

新規・継続案件を積極的に推進

●航空宇宙系

受注高、売上高ともに軟調に推移

●ネットワーク監視系

受注高、売上高ともに軟調に推移。
* 既存顧客の原価低減に伴う受注額の減少ならびに稼働率の低下等の影響から収益面で損失を計上

総合サービス事業

システムインテグレーション事業

●医療系SI案件

電子カルテ、オーダリング案件を主軸に、継続・新規案件の受注獲得を積極的に推進したことにより、受注高、売上高ともに堅調に推移

●運輸系SI案件

受注高、売上高の不調により損失計上

ITサービス事業

●インフラ構築事業

●keyCOMPASS事業

自治体や企業のIT投資抑制により、大型案件が減少、一部開発案件の延期、契約締結までの期間の長期化等が続いており、軟調に推移

●ERP事業

新規・継続案件を積極的に推進し、受注高、売上高ともに堅調に推移

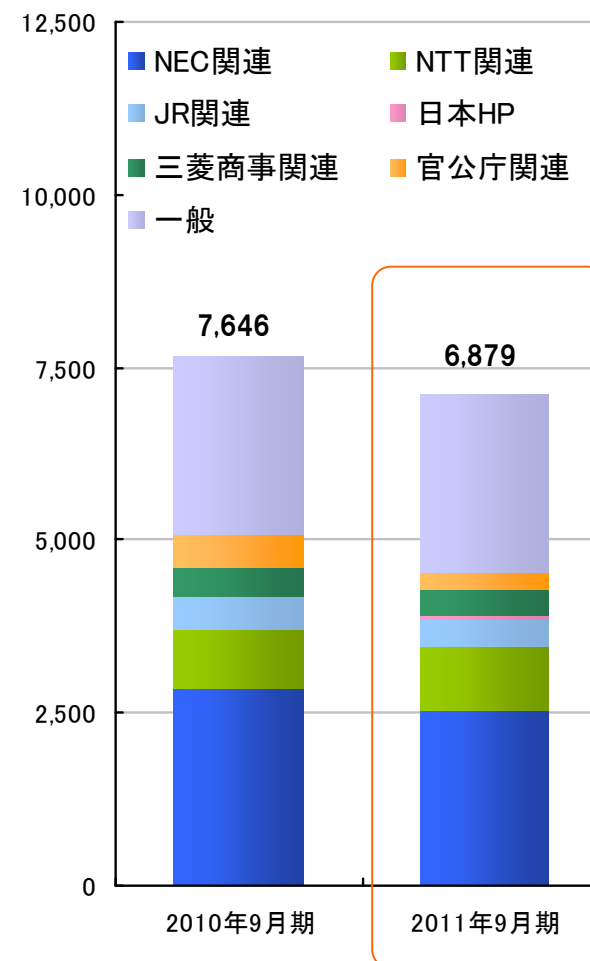
サポートサービス事業

SO(System Outsourcing)業務において、継続・新規案件の受注獲得を積極的に推進したことにより、受注高、売上高ともに堅調に推移いたしましたが、収益面においては、既存顧客の受注単価低下等が発生したことにより軟調に推移

■ 売上高 (単位: 百万円/%)

事業区分 \ 決算期	2010年9月期			2011年9月期		
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比
NEC関連	2,847	37.2%	-10.7%	2,538	36.9%	-10.9%
NTT関連	877	11.5%	17.2%	920	13.4%	4.9%
JR関連	449	5.9%	-11.2%	388	5.6%	-13.6%
日本HP	28	0.4%	-67.1%	57	0.8%	100.3%
三菱商事関連	397	5.2%	-38.8%	398	5.8%	0.4%
官公庁関連※	471	6.2%	232.5%	249	3.6%	-47.2%
一般	2,573	33.7%	-13.7%	2,326	33.8%	-9.6%
総合計	7,646	100.0%	-7.9%	6,879	100.0%	-10.0%

※官公庁関連とは・・・政府機関、役所、独立行政法人、学校関係、電力・ガス会社関係 等



連結貸借対照表概要 (単位:百万円)

項目 \ 決算期	2011年 3月期末	2011年 9月期末
資産合計	9,415	9,057
流動資産	4,739	4,483
固定資産	4,675	4,573
負債合計	2,909	2,913
流動負債	2,176	2,328
固定負債	733	585
純資産合計	6,505	6,144
資本金	1,737	1,737
資本剰余金	507	507
利益剰余金	4,262	3,906
その他	-1	-6
負債・純資産合計	9,415	9,057

項目別コメント
流動資産残高 主な増減要因は、現金及び預金の減少、受取手形及び売掛金の減少、商品及び製品の増加、仕掛品の増加
固定資産残高 主な減少要因は、投資有価証券の減少
流動負債残高 主な増加要因は、短期借入金の増加
固定負債残高 主な減少要因は、長期借入金の返済による減少
純資産残高 主な減少要因は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少

連結キャッシュ・フロー計算書概要 (単位:百万円)

項目	決算期	2010年9月期		2011年9月期	
		実績	増減額	実績	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー		-451	-751	-331	120
投資活動による キャッシュ・フロー		-95	119	-72	23
財務活動による キャッシュ・フロー		149	535	-50	-199
計		-397	-96	-454	-57
現金及び 現金同等物期末残高		706	-655	786	80

項目別コメント
<p>【営業活動によるキャッシュ・フロー】 売上債権の減少(349百万円)などがあったものの、税金等調整前四半期純損失の計上(324百万円)、たな卸資産の増加(588百万円)などにより、331百万円の減少となりました。</p> <p>【投資活動によるキャッシュ・フロー】 無形固定資産の取得による支出(88百万円)などにより、72百万円の減少となりました。</p> <p>【財務活動によるキャッシュ・フロー】 短期借入金の純増額(100百万円)があったものの、長期借入金の返済による減少(150百万円)などにより、50百万円の減少となりました。</p>

主な指標

項目	決算期	2010年9月期		2011年9月期	
		実績	前年同期比	実績	前年同期比
1株当たり純利益(円)		-29.20	49.25	-39.05	9.85
自己資本比率(%)		70.6%	0.3%	67.8%	-2.8%

項目別コメント
<p>自己資本比率は、2.8ポイント低下し、67.8%</p>

国内・海外の経済環境

- ・国内の長引く景気低迷と円高
- ・欧州債務問題など世界経済の不透明感
- ・タイの洪水被害による製造業への影響
- ・中国をはじめとした新興国の成長鈍化

クライアントである国内ユーザ企業

IT投資抑制を継続

情報サービス業界の状況

- ・情報サービス産業(8月) : 前年同月比-2.5%
- ・売上高の半分を占める「受注ソフトウェア」
: 前年同月比-0.7%

当社グループの見通し

**今期中は厳しい事業環境が継続し、
ユーザー企業の積極的なIT投資は、来期以降**

質的転換の継続によるスピーディな事業展開

1 更なる品質・顧客満足度の向上

2 サービス提供型、クラウド関連を事業として確立

3 プライムユーザ拡大

1 更なる品質・顧客満足度の向上(既存顧客との連携強化・深耕・横展開)

様々な基幹システムの構築実績や豊富な業種・業務ノウハウと最新技術を最大限に活用して受注拡大、上流工程からの参画

- NTT関係会社より官公庁システムをはじめとした継続案件、新規案件の受注拡大
- ERP導入案件の引き合いが除々に回復している中、顧客ニーズを正確に汲み取り、積極的に提案を行うことで堅調に受注を獲得

当社および地方子会社(キーウェア北海道、西日本、九州)の医療分野における実績を評価され、NECより医療系システムの受注拡大

- NECとの連携による電子カルテシステムや医事会計システムの受注が拡大、さらに当社グループの医療パッケージソフトの販売が堅調

日本HPとのパートナーシップのもと、組織的な情報収集と積極的な営業展開により、昨年度を上回る受注を獲得

2 サービス提供型、クラウド関連を事業として確立

3 プライムユーザ拡大

経済産業省 平成22年度「医療情報化促進事業」における 「どこでもMY病院」構想の実現に向けた実証事業に参画

●「どこでもMY病院」構想は、政府の高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部が2010年5月に公表した「新たな情報通信技術戦略」における構想で、当社は「どこでもMY病院」構想の周産期・小児領域のコンソーシアムに参画し、2013年度からのサービス提供へ向けた実証実験に取り組み中。

世田谷区ひとり親家庭等在宅就業支援事業のノウハウを活かした 横展開を実施

スマートデバイスを活用した
スマートモバイルソリューションサービスを新たに開始



モバイル端末に特化したビジネス向けサービス
「Value Pocket(バリューポケット)」にクラウドシリーズが追加



官公庁入札案件への積極的な応札による受注獲得

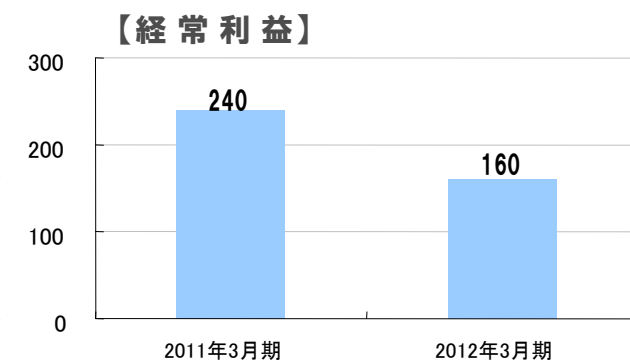
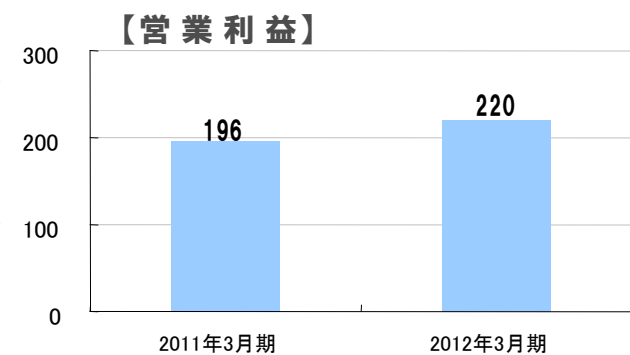
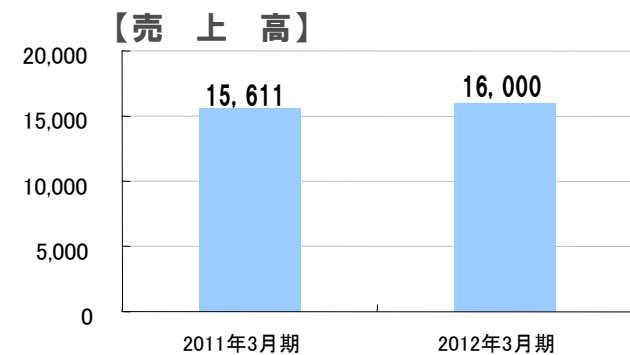
○交通広告業務をトータルにサポートする当社パッケージ
「交通広告システム」をクラウドサービスとして提供(準備中)

○引き合いが増加している医療系システム案件およびERP導入
案件のさらなる受注獲得

○中小企業を対象としたリテール事業を開始 (キーウェアサービス)

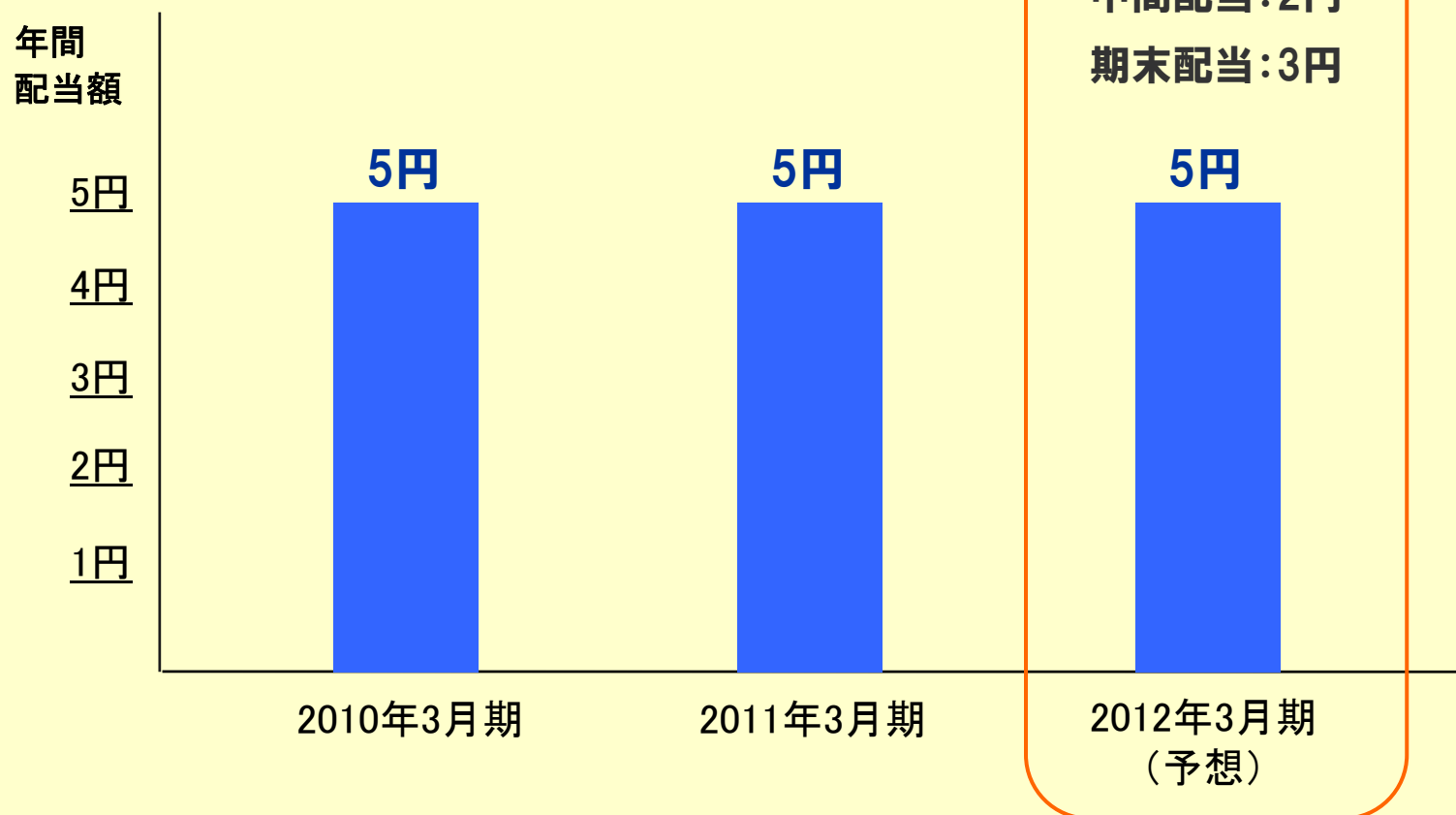
■通期業績予想 (単位:百万円/%)

項目 \ 決算期	2011年3月期		2012年3月期	
	実績	前年同期比	実績	前年同期比
売上高	15,611	-9.2%	16,000	2.5%
売上総利益	2,940	16.0%	3,120	6.1%
営業利益	196	-	220	12.0%
経常利益	240	-	160	-33.5%
当期純利益	-76	-	120	-
1株あたり利益(円)	-8.42	-	13.17	-



安定的な配当の実施と積極的な株主還元をはかります

■ 年間配当金額(1株あたり)の推移と配当予想



御清聴いただきありがとうございます



お問い合わせ

E-Mail : ir@keyware.co.jp

TEL : 03-3226-3799

※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。